

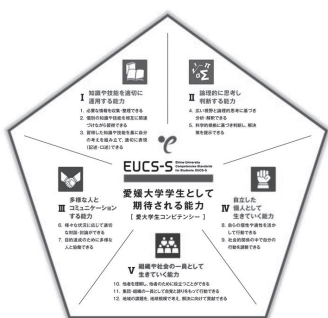
「正課外活動」としての就職支援 ～地域を創る人を育てる～



愛媛大学
教育学生支援部 就職支援課
課長 岡 靖子



愛大学生コンピテンシー



<https://www.ehime-u.ac.jp/overview/competency/>

愛媛大学では、「学生中心の大学」「地域とともに輝く大学」「世界とつながる大学」の創造を基本理念とし、自ら学び考え実践する能力と、次代を担う誇りを持つ人間性豊かな人材を社会に輩出することを目指している。

1 正課外活動としての就職支援

本学では、「学生が卒業時に身につけていることが期待される能力」として「愛大学生コンピテンシー」を定め、正課の授業や研究活動だけではなく、大学生活全体を通して学生が知的に成長し、人間としてトータルに成長できるよう教職員挙げて支援している。

学生にとって就職活動は、学生生活を通じ身につけた知識や経験を社会で試す、社会人に向けての第一歩となる重要な正課外活動である。

就職支援課では、就職活動は学生が社会に巣立つ過程で、人間的に大きく成長できる機会ととらえ、職業的に社会的に自立できる支援を行うよう心がけている。具体的には愛大学生コンピテンシーのうち「自立した個人として生きていく能力」や「組織や社会の一員として生きていく能力」を身につけることができるよう、個々の学生への

支援に努めている。

2 個別支援の強化

就職支援としては、情報提供を目的とした大人数のガイダンス、知識として得たことをアウトプットする少人数のセミナー、個別相談など、学生のニーズを踏まえ支援に取り組んでいる。きめ細やかな支援が行えるよう、厳しい財政事情の中、外部資金の獲得や校友会との連携など、支援体制の充実に努めている。

また、インターネットにより容易に情報収集ができる今日だからこそ、本来に必要な情報を取捨選択できる能力を磨くための支援も重要であると考えている。

セミナー等への参加は、就職支援課の窓口で直接足を運び、申込用紙に記入することを条件とし、取って直接やり取りする機会を設けるようにしている。就職支援課に足を運び、職員に相談したり会話を交わしたりする経験は、社会人として必要なマナーや応対を学ぶよい機会となるのではないかと期待している。

3 働くことの理解

仕事だけではなく、家庭や私生活とのバランスがとれた働き方を求める今の学生にとって、就業形態は就職先を選ぶ上で重要な要因である。また、企業を選ぶ視点として「職場の雰囲気」「社員の雰囲気」を重視する傾向がアンケート調査でも確認できる。

このため、現場のリアルな情報を得ることのできる機会として、社会で活躍する卒業生と就職活動中の学生との「座談会」を実施している。これは、単なる就職情報収集の機会としてではなく、「先輩」から「後輩」に仕事や生

活面での体験や考えを伝えていただくことを目的として開催している。「今担当している仕事をどのようにして身につけたのか」「職場の上司や同僚との関係はどうなっているのか」「今後のキャリアについてどう考えているのか」など、先輩からのリアルな情報は、職業生活をイメージするために大いに役立っているようである。

様々な情報が容易に入手できる時代だからこそ、今後さらに直接対話により職業への理解を深めるような支援を充実させていきたいと考えている。

4 地域で活躍できる人材育成

本学は、平成27年「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に採択され、県内5大学・短期大学、県、16市町、経済団体、企業等と連携し、地域で活躍する人材育成と地域への定着促進に取り組んでいて、地域志向キャリア形成センターを設立し、学生に地域の産業・企業の魅力を伝えるような様々な取り組みを行っている。

授業では、地域の状況や課題を理解し地域の活性化策を考察する「愛媛学」や社会人として身につけておくべき資質・能力の修得を目指したキャリア教育「社会力入門」を一年次の必修科目として設定する等、キャリア形成に役立つ科目を複数用意している。また、インターンシップや県内の事業所研究のためのバス支援事業を通じて、職業の選択肢を広げる取り組みも実施している。さらに、平成28年度には、愛媛県内定住促進のための奨学金制度も創設し、拡充にも努めている。

このように、愛媛大学では、地域で活躍する人材の輩出に向け様々な取り組みを行い、その充実にも努めている。